

学校だより **けやき坂**川西市立けやき坂小学校
校長 齋木 久雄

本当に早いもので、いよいよ明日から3月です。

3月18日（金）には、6年生74名が第27回卒業生として巣立の時を迎えます。卒業生並びに保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますと共に、この6年間、直接・間接的にご指導・ご支援頂きました多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

遅くなりましたが、裏面に12月に実施しましたアンケート（児童・保護者）の集計結果を掲載しております。つきましては、以下にその考察と学校評議員会（学校関係者評価）の意見を記載します。

<児童アンケート結果について>

全体的に昨年度よりも良好な結果となりました。

①～③については、肯定的意見が①は1.3%増加して85.6%、②は2.3%増加して89.0%、③は0.1%減少して96.4%になりました。概ね良好な結果となりましたが、①と②については、まだ否定的な意見を持っている児童が①は14.4%、②は11.0%有ることを重く受け止め、更に多くの児童が①「学校に行くのが楽しい」②「勉強がわかる」と感じられる学校を目指して、更に一人一人の児童を大切にしたい教育活動を実践していきたいと思えます。

④～⑫については、児童の自己評価ですが、昨年度に比べて全ての項目で肯定的意見が増加していることを嬉しく思います。しかし、④の「すすんで挨拶をしている」について肯定的な意見が3.4%増加して77.4%になりましたが、まだ少ないように思います。挨拶は、人間関係の基本です。お互いに「すすんで挨拶」ができるように、今後も指導を継続していきたいと思えます。また、⑦「自分の意見を発表している」について、肯定的な意見が0.3%増加しているものの65.9%と低い結果になっているのが気になります。子どもたちが「できる」と実感でき、さらに力を伸ばしていけるような実践を研修し、自分の意見を積極的に発表できる授業作り・学級の雰囲気作りに取り組んでいきたいと思えます。

⑩「友達から嫌なことを言われたりされたりしていない」と⑪「友達に嫌な事を言ったりしてない」については、昨年度より新たに加えた項目で、肯定的意見が⑩は15.5%増加して76.4%になり、⑪は6%増加して85.5%になりましたが、まだ否定的意見が⑩で23.6%、⑪で14.1%あることを深く受け止め、学級指導で自分達の言動を振り返らせる等、子ども同士の人間関係の改善に努めていきたいと思えます。

⑬～⑮は、先生とのかかわり・児童の教師に対する評価になりますが、全ての項目で肯定的意見が90%以上になるよう、教職員が一丸となって努力していきます。

<保護者アンケート結果について>

①～⑪の項目について、①と②については肯定的意見が増加して95%を超えたことを嬉しく思いますが、③「学校は、優しさや思いやりのある子どもを育成している」について肯定的意見が平成25年度の96.0%→平成26年度92.6%→平成27年度90.2%と年々減少しているのが気になります。けやき坂小学校の児童は、「優しさや思いやりのある子ども達」だと自負してお

りますが、この結果をしっかりと受け止めて、向上を図りたいと思います。

また、⑥と⑩の肯定的意見が前年度から減少しているのが気になります。⑥については、学校便りは毎月1回定期的に発行し、ほぼ毎日更新しているホームページには1日に約400～500件のアクセス数がありますが、今後も継続して行きたいと思います。⑩については、「友だちや先生と好ましい関わりができるよう」より一層の学級経営の充実を図りたいと思います。

⑫～⑰の項目については、保護者の自己評価ですが、⑫「家庭の中の仕事で、子どもに任せているものがある」の肯定的意見が3.4%増加して79.4%になりましたが、まだ少ないように思われます。

また、⑫～⑯の項目については、「学校からの連絡の確認」「学習用具の確認」「生活習慣の確認」「子どもの行動範囲の確認」等、小学生の子どもを持つ保護者の皆様方にはぜひ実践して頂きたいととても大切な項目です。100%に近づけるよう啓発していきたいと思います。

最後の⑰「何か起こった時、安心して子どもを預けられる人が近くにいる」の肯定的意見が5.8%減少して77.7%になりました。まだまだ保護者同士の横の繋がりが希薄のように感じられます。

<今後の課題について>

本校の校区である「けやき坂」では今後も住宅の分譲が続き、それに伴って児童数が増加します。今回の児童・保護者アンケートの結果を基にして、学校における「教育活動の質」の更なる向上を図ると共に、家庭・地域とも連携して「子ども同士・保護者同士の横のつながり」を深め、「家庭の教育力」を高める啓発活動に取り組みたいと思います。

<学校評議員会の意見>

○挨拶について

年末に、低学年の児童に「気をつけて帰りなさいよ」と声を掛けると、「良いお年を」と言ってくれて、とても嬉しく・感心した。挨拶は、家庭での「しつけ」が大切だと思う。

○危険な遊びについて

学校だけが指導するのではなく、家庭や地域の声掛け（見守り）が大切。子どもの行動を見て、周りの大人が注意する。

○保護者の変化

保護者同士の横の繋がりが希薄になっている。学級懇談会の参加者が少なく有効に機能していない状況がある。学級懇談会での保護者同士の情報交流を有効に活用する。

○その他

6年生のお弁当を自分で作る宿題は、親として手がかかるが、とても良いきっかけとなった。母親が体調不良の時に、母親に代わってカレーを作ってくれて感動した。

<お知らせとお願い>

2月8日の放課後、15時20分頃に小学校の裏山で火事がありました。その裏山には、以前から多くの児童が出入りして、秘密基地遊びをしていたそうです。今回は幸い発見が早く、ご近所の皆様方がバケツリレーで消火していただきましたので、燃えた範囲は直径約5mの範囲で済みましたが、その初期消火がもう少し遅かったら、裏山全体が燃える重大事になっていたと思います。子ども達には、9日に臨時の全校朝会を開催して、火事の恐ろしさを伝えると共に、「善悪」（して良い事・悪い事）の判断ができる人になり、してはいけない事に対して、「自分でやめる勇氣」「誘われても断る勇氣」「悪い事をしようとする友だちを止める勇氣」を持って欲しいという話をしました。（全校朝会の後、正直に名乗り出てくれた児童がおり、本人とご両親が警察と消防から事情を聞かれました。）

つきましては、ご家庭におかれましても、お子様の遊びについて確認をお願い致します。